

平成 25 年 6 月 14 日及び 15 日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の 2 件の供与式が、渡邊大使夫妻及び行政局知事が参加して実施されました。

1 「ギョイチャイ市学校衛生改善計画」 (供与金額 123,342 米ドル)

同プロジェクトは、ギョイチャイ市にある寄宿学校に適切な衛生基準に基づきトイレ・シャワー施設、第 6 学校にトイレ施設を新規に建設し、また、UNICEF アゼルバイジャン作成の教本による公衆衛生教育を実施することで、両校の衛生環境を改善するものです。

式典にはギョイチャイ地区行政局知事、UNICEF アゼルバイジャン代表ヘレワード氏、及びコールゲートパルムオリーブ社ハサンリ氏が参加しました。



大使によるスピーチ



新規に建設された寄宿学校の衛生施設。トイレ 16 基とシャワー 3 基を備えています。



施設内の様子



衛生施設内の様子



地元柔道クラブによるパフォーマンス披露



2. 「サアトリ地区マズラリ村及びナハルリ村給水設備整備計画」 (供与金額123,000米ドル)

機能が低下している給水システムを修復改善し、土砂等で埋まった農業灌漑用水路の堆積物を除去することにより、用水路周辺の村々の農業を活性化し生産高向上を目指すと共に安定的な飲料水の供給を図るものです。

3基のポンプ



供与式の様子



取・送水システム



大使の記者会見

